



ASR-033W Demo

デモアプリ操作説明書

対応機種: ASR-033W / ASR-053W / ASR-P351N

対象 OS: iOS / iPadOS

開発言語: Objective-C

初版 2026年1月7日

株式会社アスタリスク

■ 改版履歴

| バージョン | 説明 | 日付 |
|-------|------|----------|
| 初版 | 新規作成 | 2026/1/7 |

■目次

| | |
|---------------------------|----|
| 1. 画面説明 | 6 |
| 1.1. トップ画面 | 6 |
| 1.2. 基本設定 | 7 |
| 2. 接続方法 | 9 |
| 3. 使用方法 | 10 |
| 3.1. インベントリ | 10 |
| 3.2. インベントリの停止 | 11 |
| 3.3. 表示データのクリア | 12 |
| 3.4. Read | 13 |
| 3.4.1. Read 画面 | 13 |
| 3.4.2. パラメータ設定 | 14 |
| 3.4.3. Read | 15 |
| 3.5. Write | 16 |
| 3.5.1. Write 画面 | 16 |
| 3.5.2. パラメータの設定 | 17 |
| 3.5.3. Write | 19 |
| 3.5.4. アクセスパスワードの変更 | 20 |
| 3.5.5. キルパスワードの変更 | 20 |

| | |
|---------------------------------|----|
| 3.6. Lock..... | 21 |
| 3.6.1. Lock 画面 | 21 |
| 3.6.2. Lock パラメータの設定..... | 22 |
| 3.6.3. Lock..... | 24 |
| 3.7. Kill..... | 25 |
| 3.7.1. Kill 画面 | 25 |
| 3.7.2. Kill パラメータの設定..... | 26 |
| 3.7.3. Kill | 27 |
| 3.8. バーコードの読取 | 28 |
| 4. Network..... | 29 |
| 5. More | 33 |
| 5.1. RFID settings..... | 34 |
| 5.1.1. Inventory Settings | 35 |
| 5.1.2. Antennas Power | 36 |
| 5.1.3. Link Profile | 36 |
| 5.1.4. Session Flag..... | 37 |
| 5.1.5. Session | 38 |
| 5.1.6. Idle Time | 39 |
| 5.1.7. Q Value | 39 |

| | |
|---------------------------------|----|
| 5.1.8. LBT Channel..... | 40 |
| 5.2. Information | 40 |
| 5.3. Print and Open Drawer..... | 41 |
| 5.3.1. プリンター設定 | 41 |
| 5.3.2. レシート印刷..... | 42 |
| 5.3.3. キャッシュドロアを開く | 42 |

はじめに

本書では ASR-033W Demo アプリケーションの正しい操作方法について記述しています。ご使用前に必ずお読みください。

ASR-033W Demo App について

ASR-033W Demo は弊社製品 ASR-033W、ASR-053W、ASR-P351N をご使用の際に利用できるアプリケーションです。

App Store で「ASR-033W Demo」を検索してダウンロードしてください。

※ASR-033W Demo は ASR-033W、ASR-053W、ASR-P351N の専用デモアプリです。

1. 画面説明

1.1. トップ画面

AsReader の DHCP/Static IP の設定

The screenshot shows the 'Network' configuration page for device '033W'. It includes fields for IP address (192.168.10.101), Port (9600), and Mode (TCP/ MQTT). There are 'Connect' and 'Disconnect' buttons. Below this is the RFID section with a 'Search' button, 'RFID' and 'HID' toggle switches, and a list of scanned tags. The tag list shows EPC, PC, Frequency, RSSI, and Count for each tag. At the bottom, there are 'Start', 'Stop', and 'Clear' buttons, and a counter showing 'Count: 5 Total: 10'.

Annotations on the left side of the screenshot:

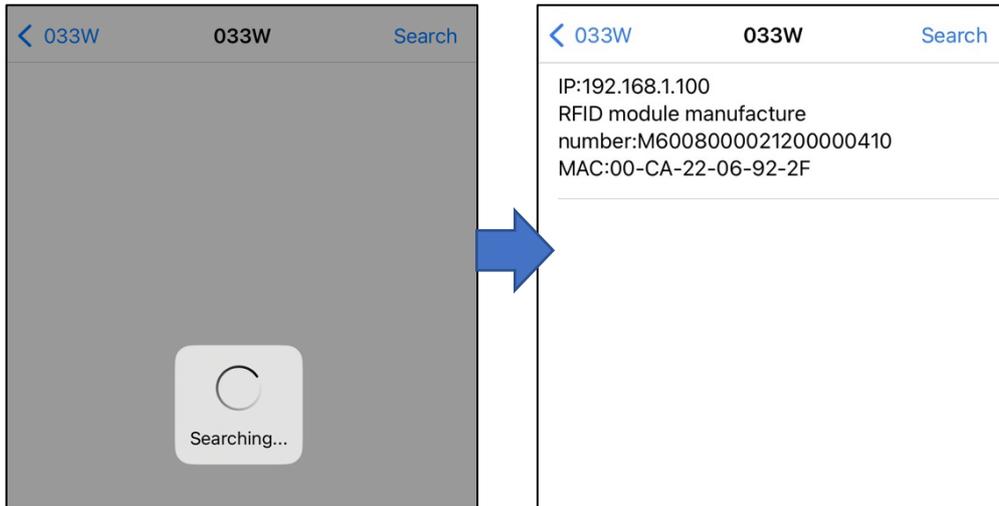
- 設定 (Setting)
- 接続可能な AsReader の IP アドレスの検索 (Search for connectable AsReader IP addresses)
- AsReader の IP アドレス (AsReader IP address)
- 接続ボタン (Connect button)
- ポート番号 (Port number)
- 切断ボタン (Disconnect button)
- TCP/MQTT モードの設定 (TCP/MQTT mode setting)
- RFID 読み取りのスイッチ (RFID scanning switch)
- HID スキャナのスイッチ (HID scanner switch)
- EPC (EPC)
- PC (PC)
- アンテナポート番号 (Antenna port number)
- 応答波の位相 (Response wave phase)
- 応答波の信号強度 (Response wave signal strength)
- 同一タグを読み取った回数 (Number of times the same tag is scanned)
- 読み取ったタグの数 (Number of scanned tags)
- タグの読取回数の合計 (Total number of tag scans)
- インベントリ開始ボタン (Inventory start button)
- インベントリ停止ボタン (Inventory stop button)
- クリアボタン (Clear button)

1.2. 基本設定

Search : Search ボタンをタップして、接続可能な AsReader の IP アドレスを検索します。

表示された IP アドレスをタップすると、AsReader に接続できます。

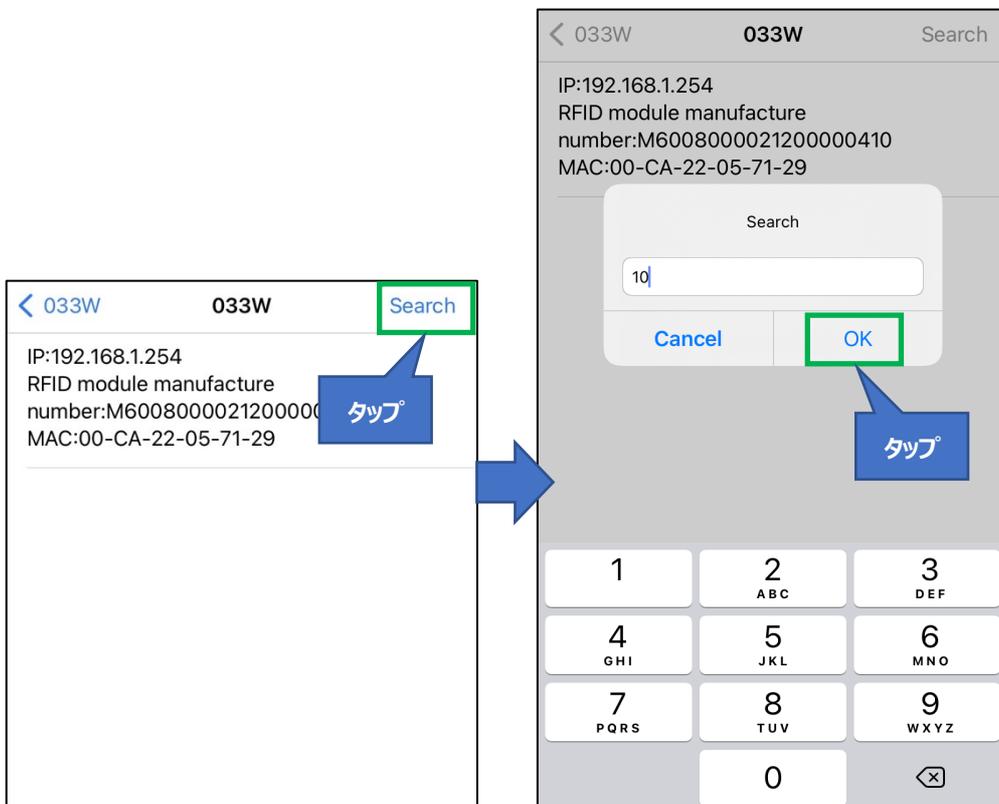
接続に成功すると、Top 画面に戻ります。



右上の「Search」ボタンをタップすると、検索のタイムアウト時間を設定できます。

設定範囲 : 10s~60s

デフォルト値 : 10s



Mode : 通信プロトコルとして TCP または MQTT を選択できます。

RFID : 有効にすると RFID タグの読み取りができます。

HID : 有効にすると、バーコードスキャナーなどの HID デバイスからデータを受信できます。

2. 接続方法

方法 1 : 「Search」ボタンをタップし、同じネットワークセグメントの AsReader を検索します。

方法 2 : アプリケーションを起動して、接続可能な AsReader の IP を入力し、「Connect」ボタンをタップして、接続を行います。

接続に成功すると、下記のように表示されます。

※未接続時は、アプリケーションを操作できません。

The screenshot shows the application interface for network 033W. At the top, there is a red 'Search' button. Below it, the IP address is set to 192.168.10.101, with a red 'Connect' button. The port is set to 9600, with a grey 'Disconnect' button. The mode is set to TCP, with a grey 'MQTT' button. The RFID and HID toggle switches are both turned off. At the bottom, the status is 'Count: 0 Total: 0', and there are three buttons: 'Start' (grey), 'Stop' (grey), and 'Clear' (grey).

未接続

The screenshot shows the application interface for network 033W in a connected state. The 'Search' button is grey. The 'Connect' button is grey, and the 'Disconnect' button is red. The 'MQTT' mode button is now active (white with black text), and the 'TCP' button is grey. The RFID toggle switch is turned on (green), and the HID toggle switch is turned off (grey). At the bottom, the status is 'Count: 0 Total: 0', and there are three buttons: 'Start' (red), 'Stop' (grey), and 'Clear' (red).

接続済み

3. 使用方法

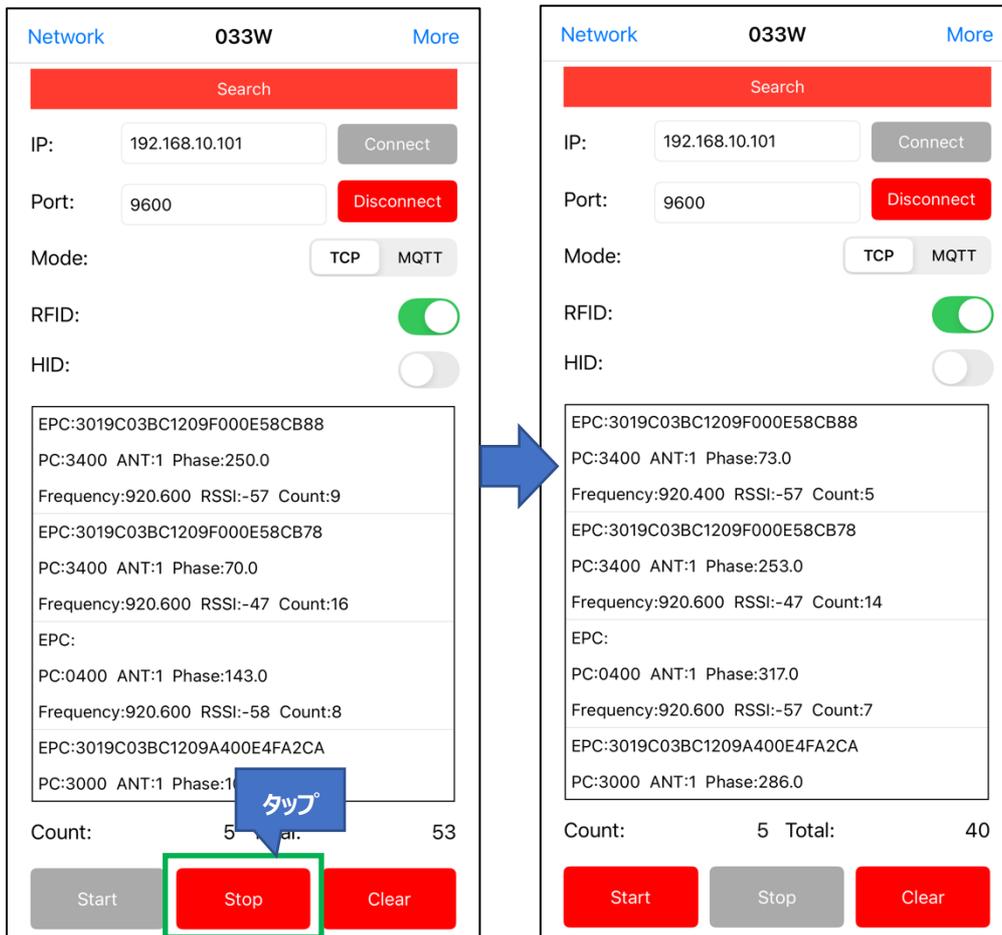
3.1. インベントリ

「RFID」スイッチをオンにして、「Start」ボタンをタップします。



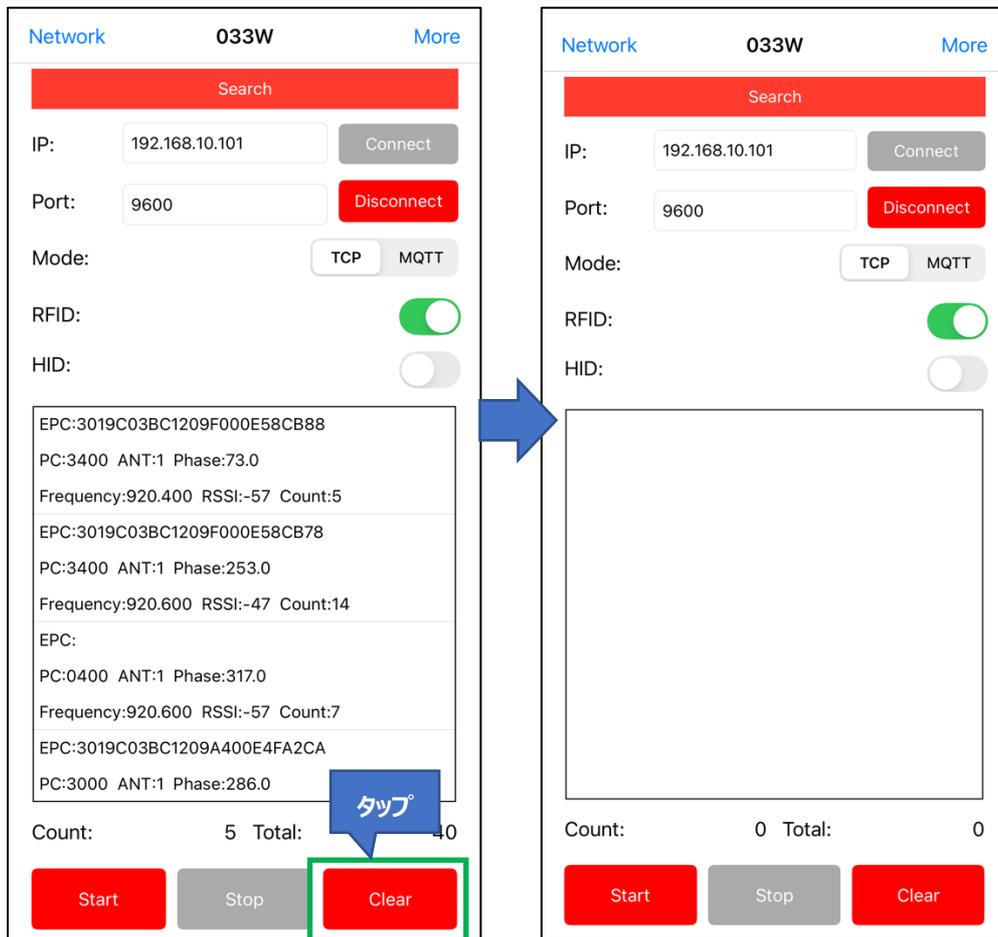
3.2. インベントリの停止

「Stop」ボタンをタップします。



3.3. 表示データのクリア

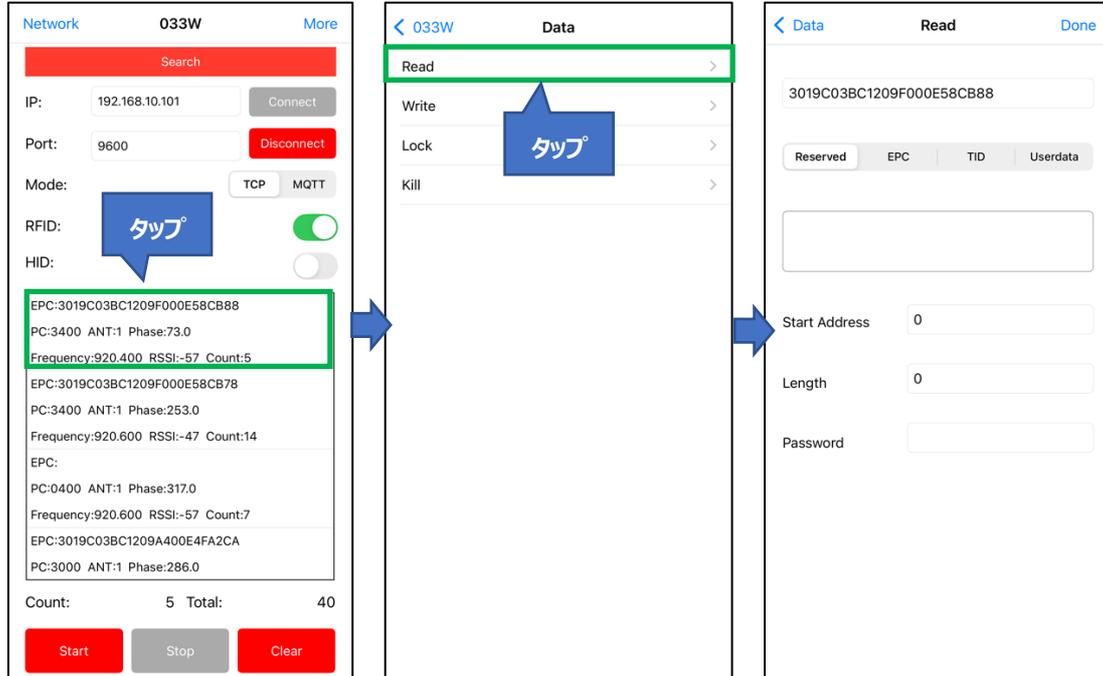
「Clear」ボタンをタップします。



3.4. Read

3.4.1. Read 画面

任意のタグのデータをタップした後、「Read」ボタンをタップすると、Read 画面に遷移します。



3.4.2. パラメータ設定

フィルタパラメータ :

① マッチング値

マッチング値を設定します。選択したタグの EPC 値がデフォルトで表示されます。

例 : 3019C03BC1209F000E58CB88。

Read パラメータ :

② Reserved/EPC/TID/Userdata

Read するメモリ領域を設定します。

- Reserved バンク : キルパスワード (0~1Word 目) とアクセスパスワード (2~3 Word 目) で構成されます。
- EPC バンク
- TID バンク
- User バンク

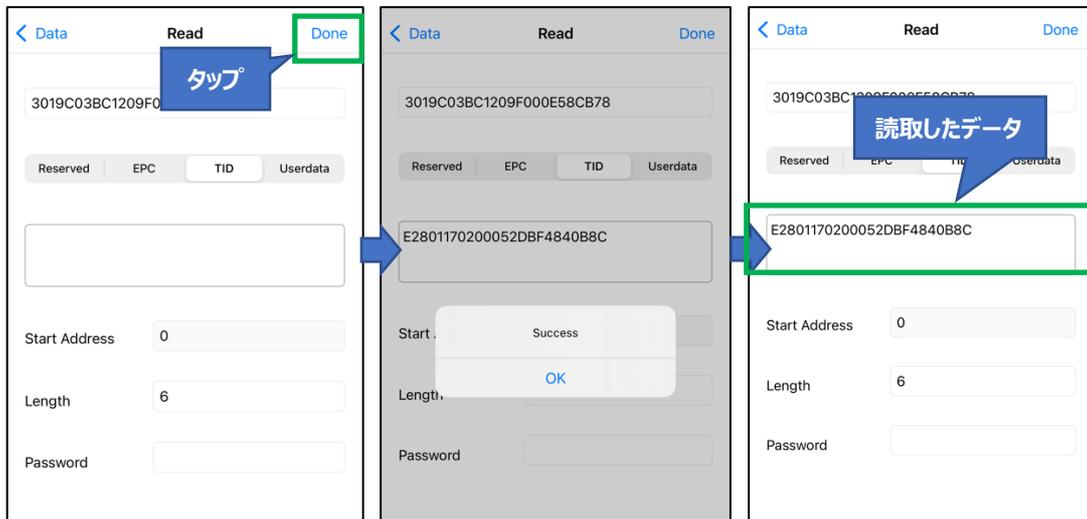
③ 読み取りデータ

読み取ったデータを表示します。

- ④ Start Address
スタートアドレスを指定します。単位：Word
- ⑤ Length
Read するデータの長さを指定します。単位：Word
- ⑥ Password
アクセスパスワードを入力します。
タグの Reserved バンクがロックされている場合、タグを読み取るにはアクセスパスワードの入力が必要です。他のロックされたメモリバンクの読み取りにアクセスパスワードは不要です。

3.4.3. Read

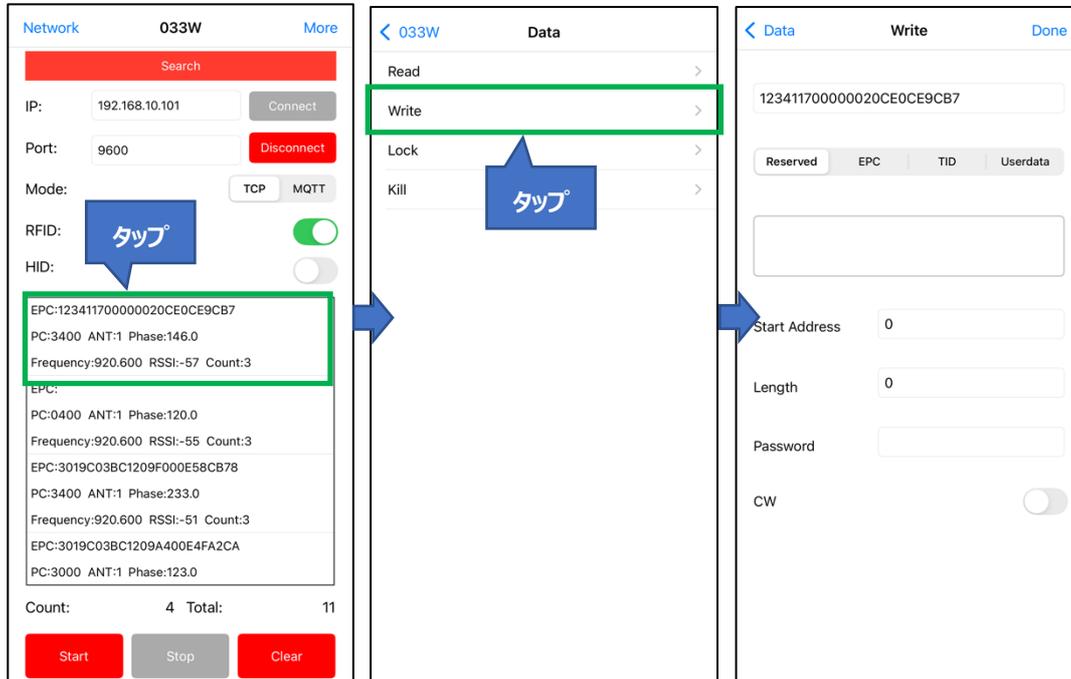
上記パラメータを設定した後、「Read」ボタンをタップしてタグを読み取ります。



3.5. Write

3.5.1. Write 画面

任意のタグのデータをタップした後、「Write」ボタンをタップして、Write 画面に遷移します。



3.5.2. パラメータの設定

フィルタパラメータ ①

書き込みパラメータ ④ ⑤ ⑥ ⑦

②

③

④ Start Address 0

⑤ Length 0

⑥ Password

⑦ CW

フィルタパラメータ：

① マッチング値

マッチング値を設定します。選択したタグの EPC 値がデフォルトで表示されます。

例：123411700000020CE0CE9CB7。

Write パラメータ：

② Reserved/EPC/TID/Userdata

データを書き込むメモリバンクを設定します。

- Reserved バンク：キルパスワード（0～1Word 目）とアクセスパスワード（2～3Word 目）で構成されます。
- EPC バンク
- TID バンク
- User バンク

③ 書き込みデータ

書き込みたいデータを入力します。

例 : 12345678

④ Start Address

書き込みのスタートアドレスを指定します。単位 : Word

デフォルト値:

- Reserved バンク : 0
- EPC バンク : 2
- TID バンク : 0
- User バンク : 0

⑤ Password

アクセスパスワードを入力します。

タグの Reserved/EPC/User バンクがロックされている場合、タグに書き込むにはアクセスパスワードの入力が必要です。

※TID バンクには書き込みできません。

⑥ Length

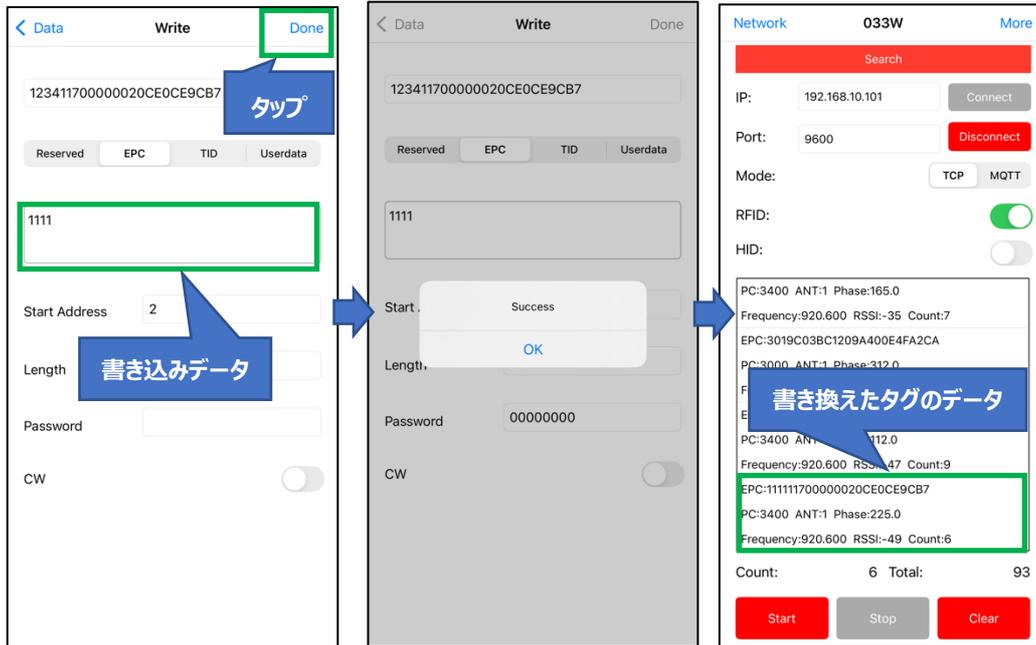
入力データに基づき、書き込むデータの長さを自動的に計算します (読み取り専用)。単位 : Word

⑦ CW

On にすると、書き込みの成功率を向上させるために CW の送信時間を延長します。

3.5.3. Write

上記パラメータを設定した後、「Done」ボタンをタップしてタグに書き込みます。



3.5.4. アクセスパスワードの変更

フィルタパラメータ :

「[3.5.2 パラメータの設定](#)」を参照して設定してください。

Write パラメータ :

- ① Reserved/EPC/TID/Userdata
対象メモリバンクを Reserved に設定します。
- ② 書き込みデータ
設定するアクセスパスワードを入力します。
例 : 12345678
- ③ Start Address
スタートアドレスとして 2 を入力します。
- ④ Password
アクセスパスワードを入力します。アクセスパスワードがロックされていない場合、初期パスワード 00000000 を入力するか、空白にしてください。
- ⑤ Length
書き込みデータの長さ (2) を自動的に計算します。

上記のパラメータを設定した後、「Done」ボタンをタップします。

3.5.5. キルパスワードの変更

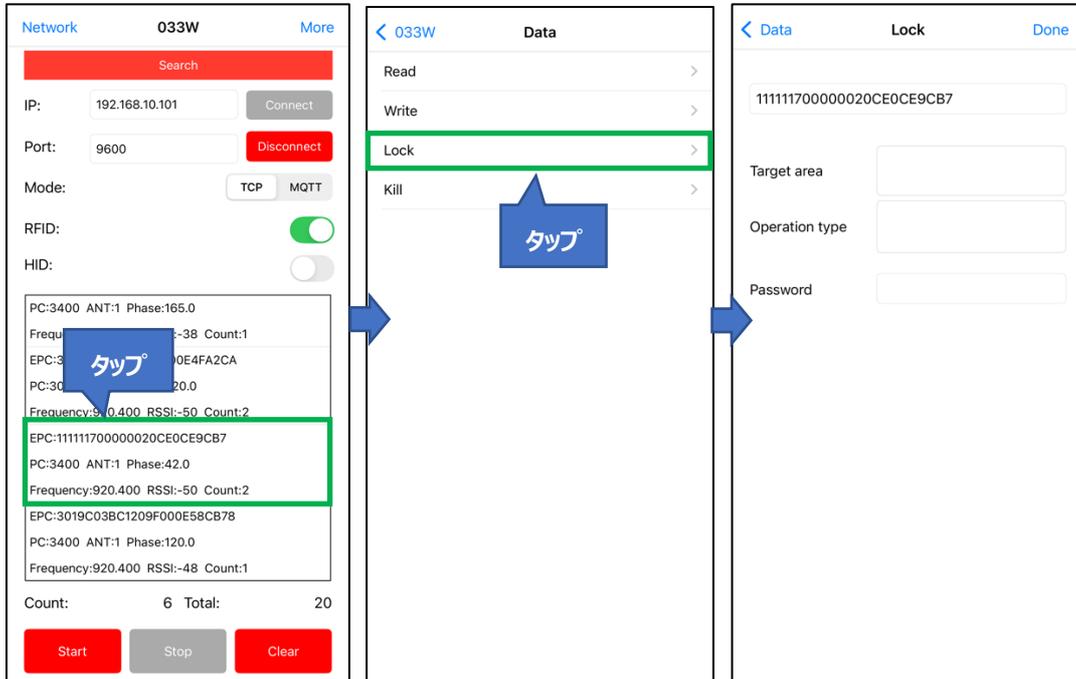
手順は「[3.5.4 アクセスパスワードの変更](#)」と同様です。

キルパスワードの Start Address は 0 です。

3.6. Lock

3.6.1. Lock 画面

任意のタグのデータをタップした後、「Lock」ボタンをタップして、Lock 画面に遷移します。



3.6.2. Lock パラメータの設定

フィルタパラメータ { ①

Lock パラメータ { ②
③
④

フィルタパラメータ :

① マッチング値

マッチング値を設定します。選択したタグの EPC 値がデフォルトで表示されます。

例 : 111111700000020CE0CE9CB7。

Lock パラメータ :

② Target area

操作を行うメモリ領域を設定します。

Target area のテキストボックスをタップすると、メモリ領域の選択肢が表示されます。上下にスクロールして操作を行うメモリ領域を選択できます。

- Kill password : キルパスワード、Reserved バンクの 0~1Word 目
- Access password : アクセスパスワード、Reserved バンクの 2~3 Word 目
- EPC バンク
- TID バンク
- User バンク

③ Operation type

操作タイプを設定します。

Operation type のテキストボックスをタップして、操作タイプの選択肢を表示します。上下スクロールして操作タイプを選択できます。

- Lock : ロックされたメモリバンクを書き換えには、アクセスパスワードの入力が必要です。
- Unlock : メモリバンクがアンロックされた後は、アクセスパスワードを空欄にするか、デフォルトアクセスパスワード (00000000) を入力して書き換えることができます。
- PermaLock : 永久ロックされたメモリバンクはアンロックまたは永久アンロックができません。アクセスパスワードを入力しても書き換えることができません。
- PermaUnlock : 永久アンロックされたメモリバンクはロックまたは永久ロックができません。

④ Password

アクセスパスワードが設定されたタグの Reserved/EPC/Userdata バンクをロック/アンロック/永久ロック/永久アンロックする場合、アクセスパスワードを入力する必要があります。

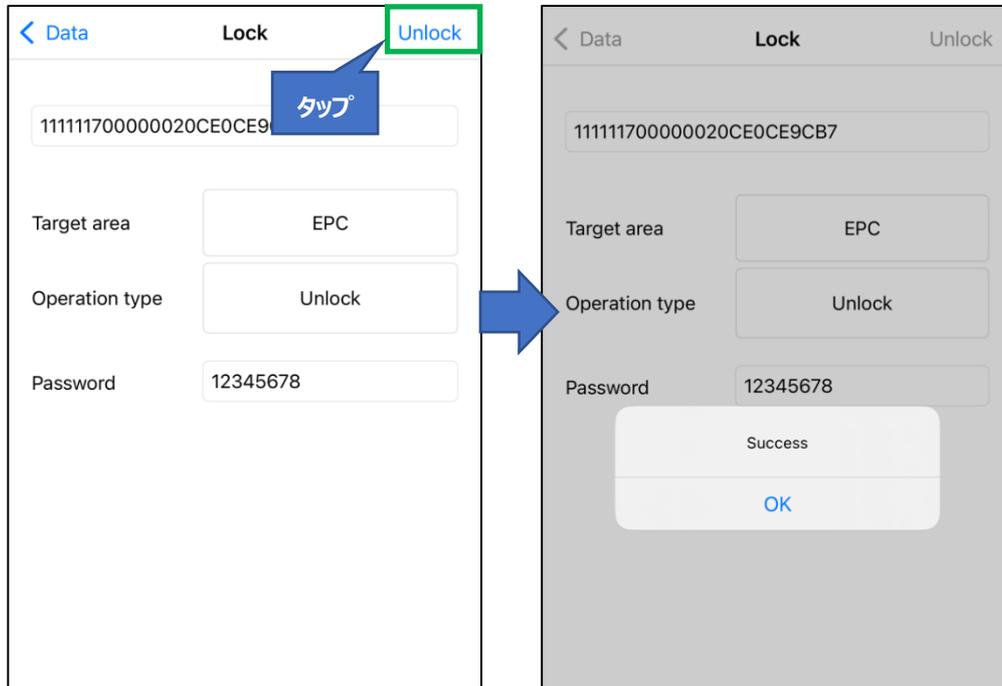
※1、TID バンクは工場出荷時に永久ロックされています。

※2、アクセスパスワードは初期パスワードの場合、上記の操作は実行できません。先にアクセスパスワードを変更する必要があります。

3.6.3. Lock

上記のパラメータを設定した後、「Lock」または「Unlock」ボタンをタップしてロック/アンロック/永久ロック/永久アンロックを行います。

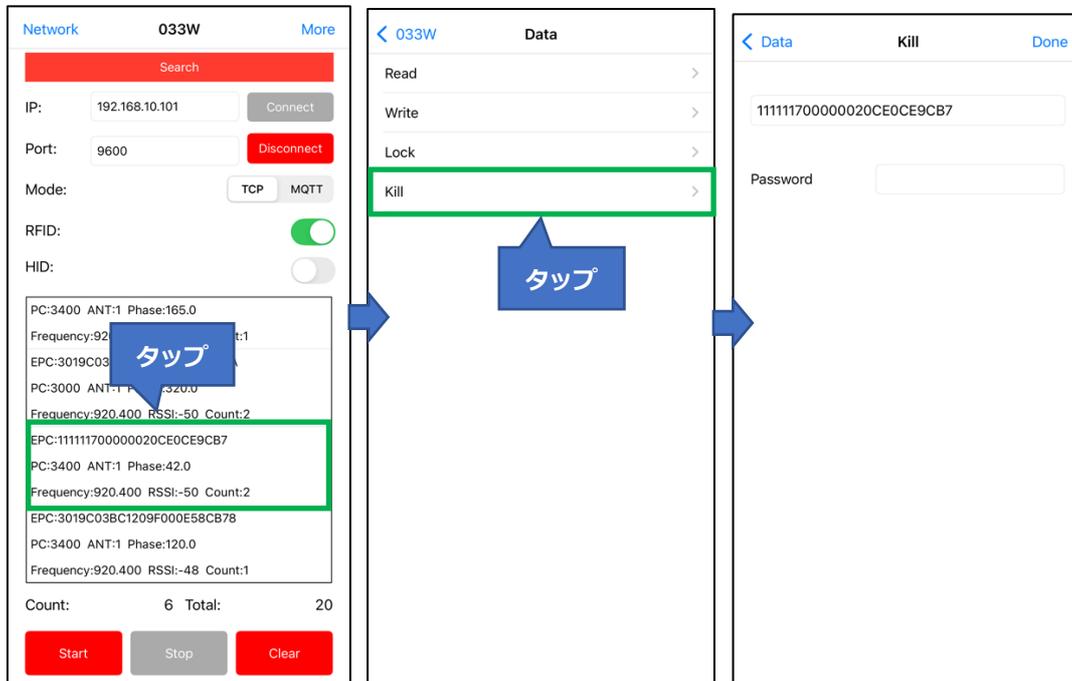
Operation type を Lock/PermaLock に選択した場合、ボタン上に Lock と表示されます。
Operation type を Unlock/PermaUnlock に選択した場合、ボタン上に Unlock と表示されます。



3.7. Kill

3.7.1. Kill 画面

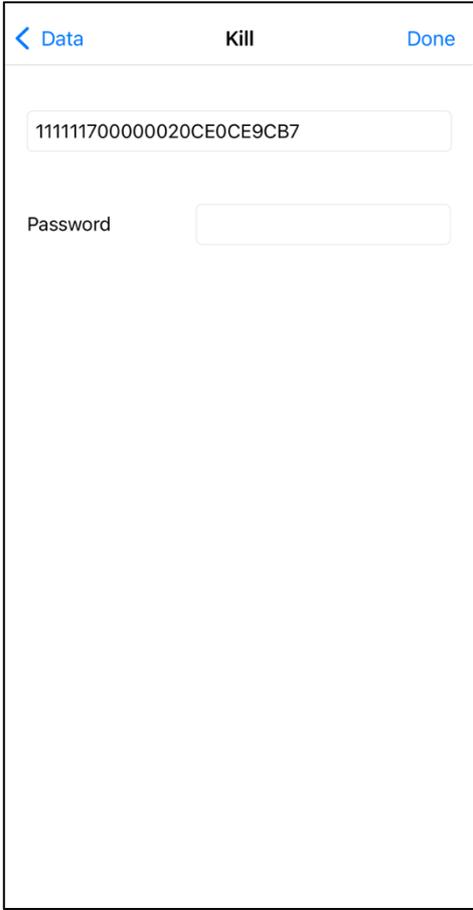
任意のタグのデータをタップした後、「Kill」ボタンをタップして、Kill 画面に遷移します。



3.7.2. Kill パラメータの設定

フィルタパラメータ { ①

キルパラメータ { ②



① マッチング値

マッチング値を設定します。選択したタグの EPC 値がデフォルトで表示されます。

例：111111700000020CE0CE9CB7。

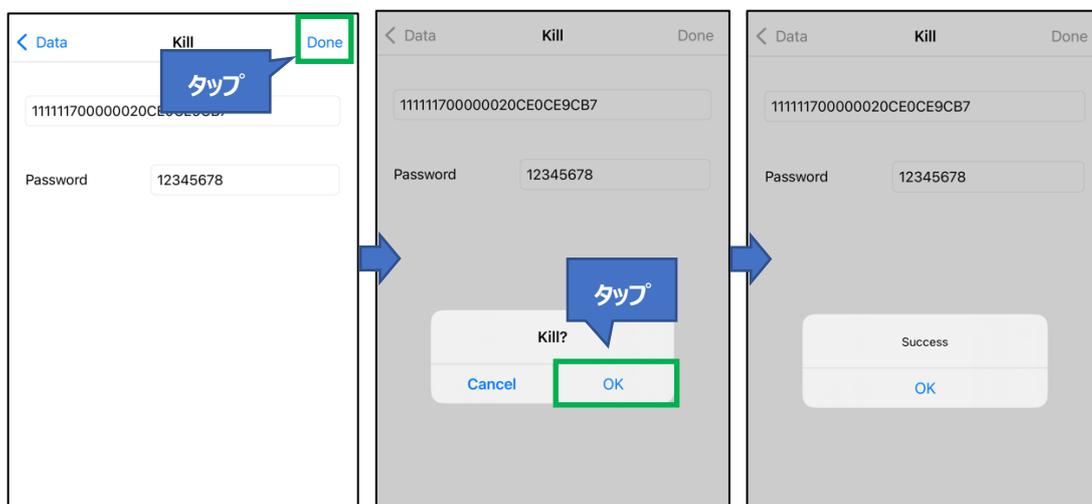
② Kill password

キルパスワードを入力します。

※キルパスワードは初期パスワードの場合、キル操作が実行できません。先にキルパスワードを変更する必要があります。

3.7.3. Kill

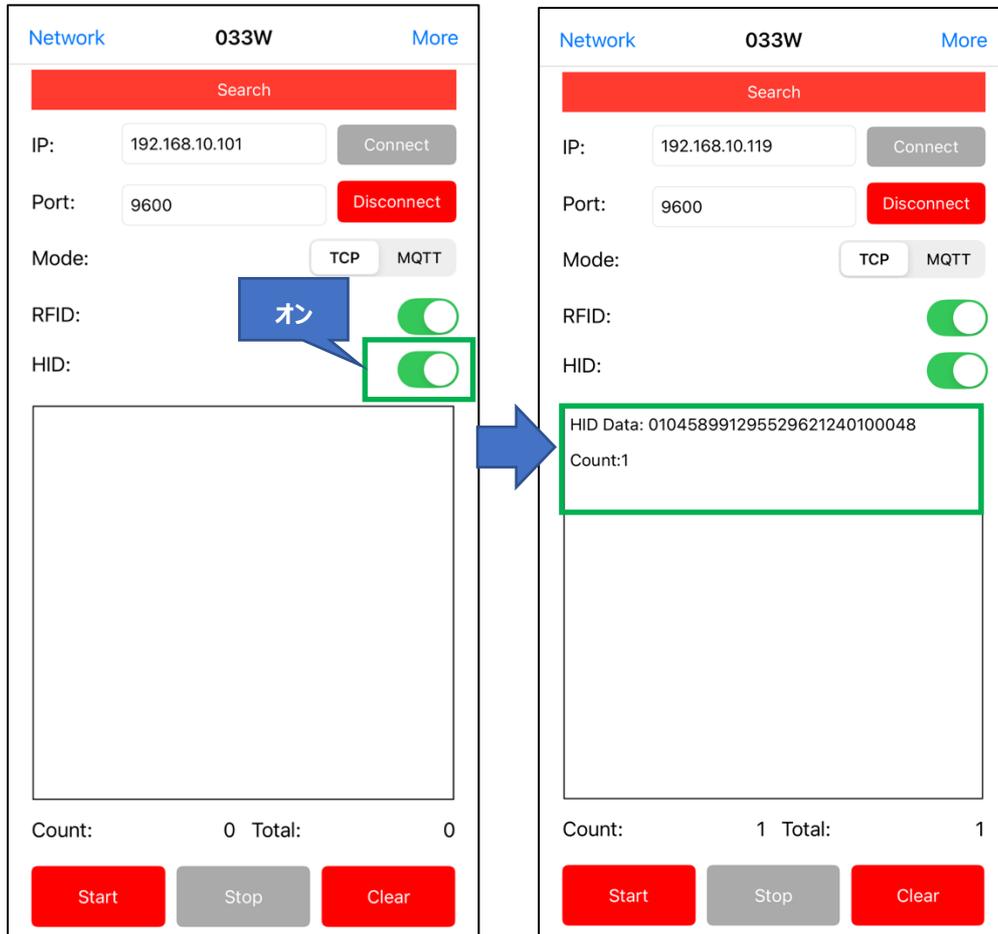
上記のパラメータを設定した後、「Kill」ボタンをタップしてタグをキルします。



3.8. バーコードの読み取り

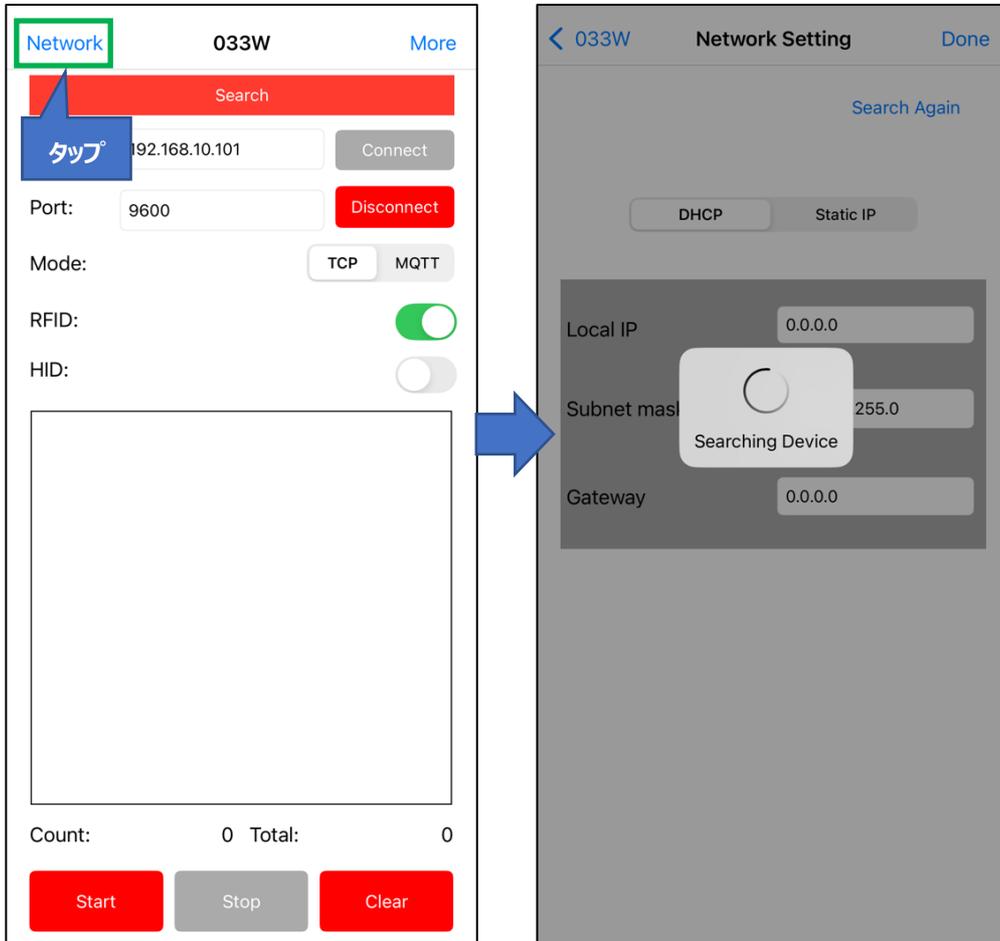
バーコードスキャナーを AsReader の USB Type-A ポートに接続してください。HID スイッチをオンにしてから、バーコードスキャナーでバーコードを読み取ることができます。

スキャナーでスキャンされたデータはアプリのデータリストに表示されます。



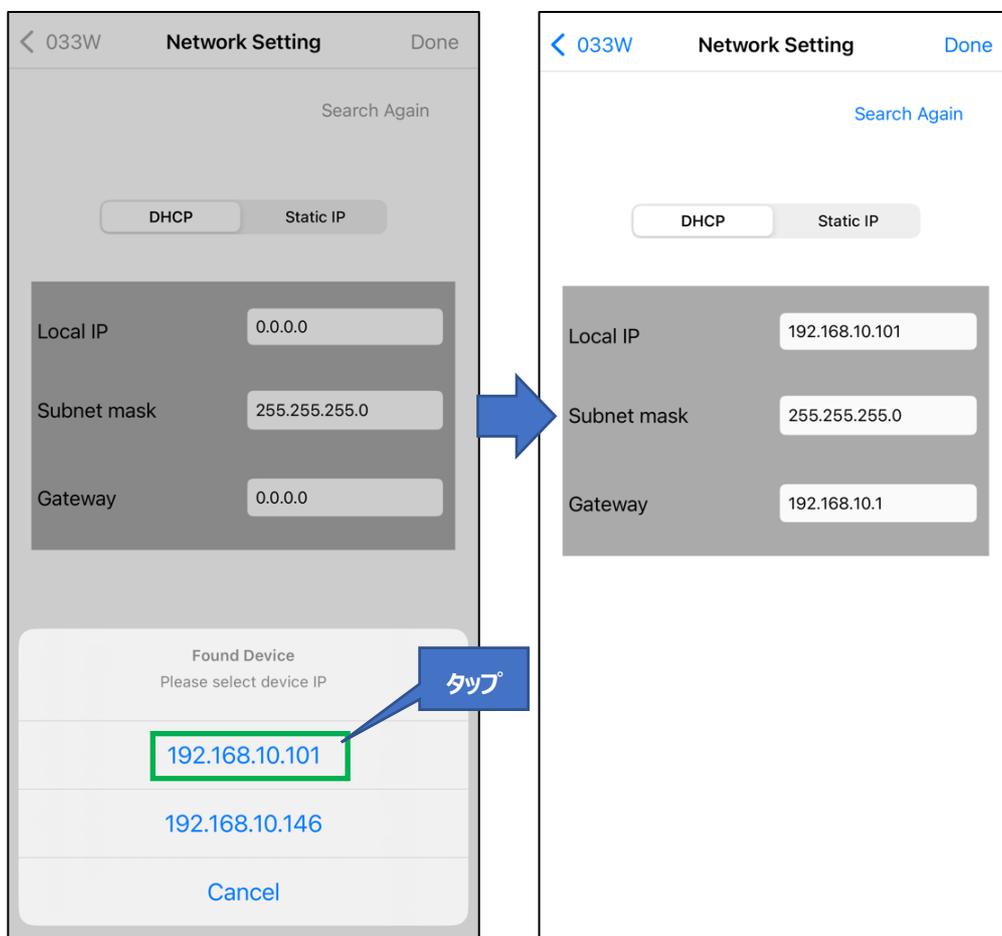
4. Network

この画面では、AsReader の IP アドレスが設定できます。固定 IP アドレスまたは動的 IP アドレスに対応しています。左上の「Network」ボタンをタップして、「Network Setting」画面に遷移し、AsReader の検索を開始します。



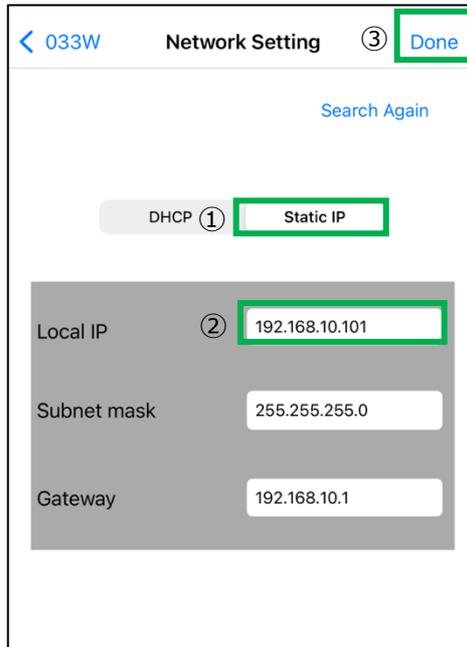
検索が完了すると AsReader の IP アドレスが表示されます。

検索された IP アドレスをタップすると、現在の AsReader の設定が DHCP の場合は「DHCP」が、固定 IP アドレスの場合は「Static IP」が自動的に選択されます。初期設定は「DHCP」です。

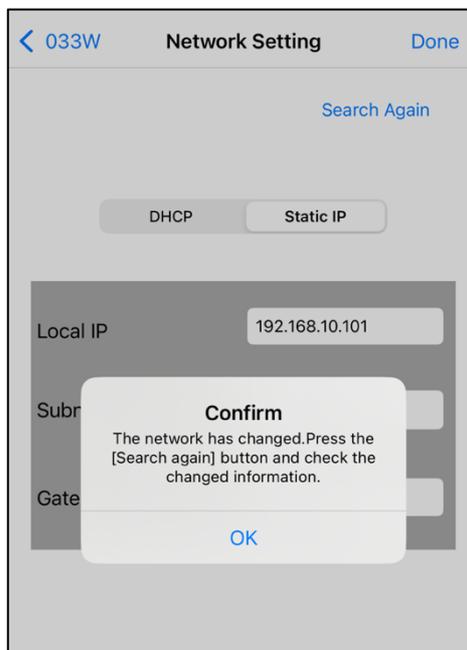


固定 IP アドレス の設定 :

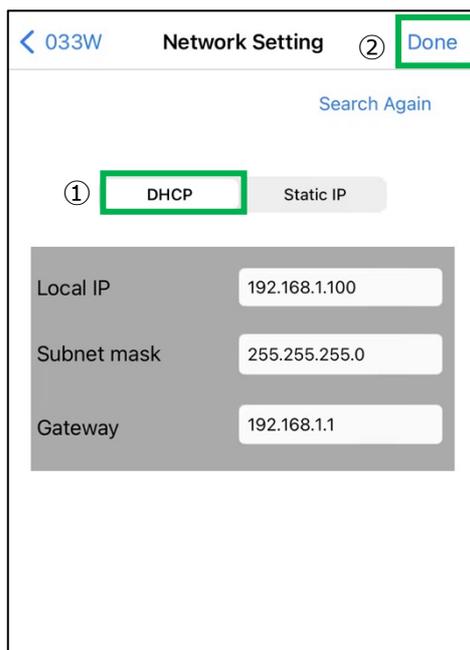
- ① 「Static IP」を選択します。
- ② 使用したい IP アドレスを Local IP に入力します。
※IP アドレスは、ご利用になられるネットワーク環境のネットワーク管理者にお問い合わせください。
- ③ 「Done」をタップします。



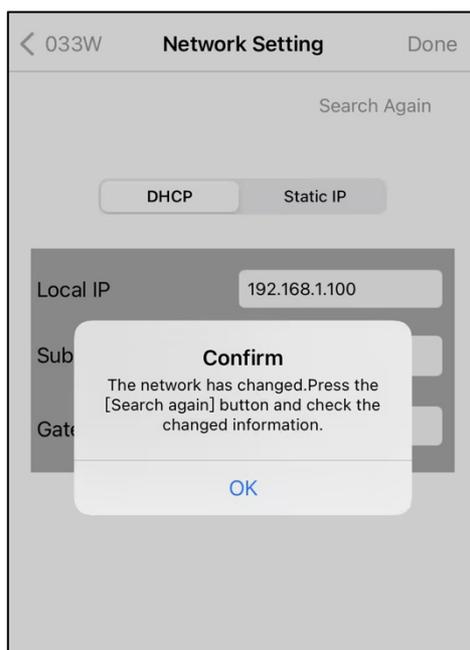
IP アドレスの設定が完了すると以下のメッセージが表示されます。

**DHCP の設定 :**

「DHCP」を選択し、「Done」をタップします。

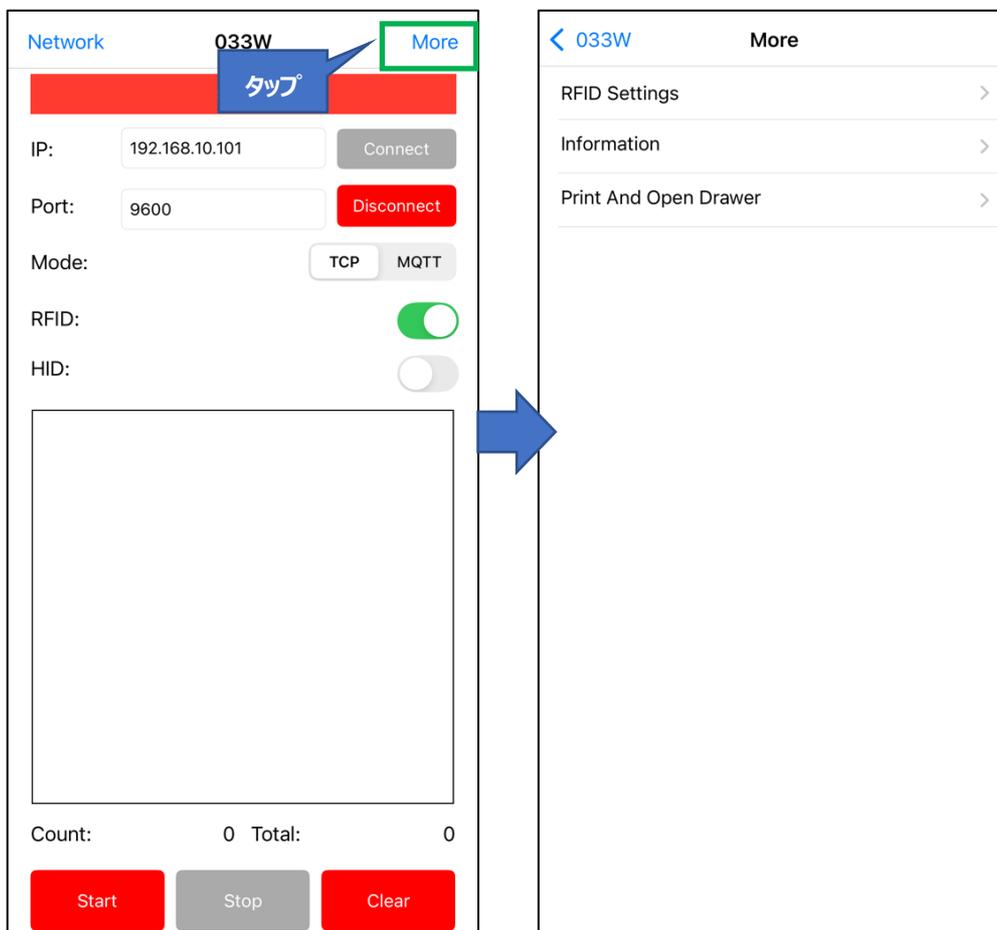


IP アドレスの設定が完了すると以下のメッセージが表示されます。



5. More

トップ画面の「More」ボタンをタップした後、各設定項目のボタンをタップし、詳細設定画面に遷移します。



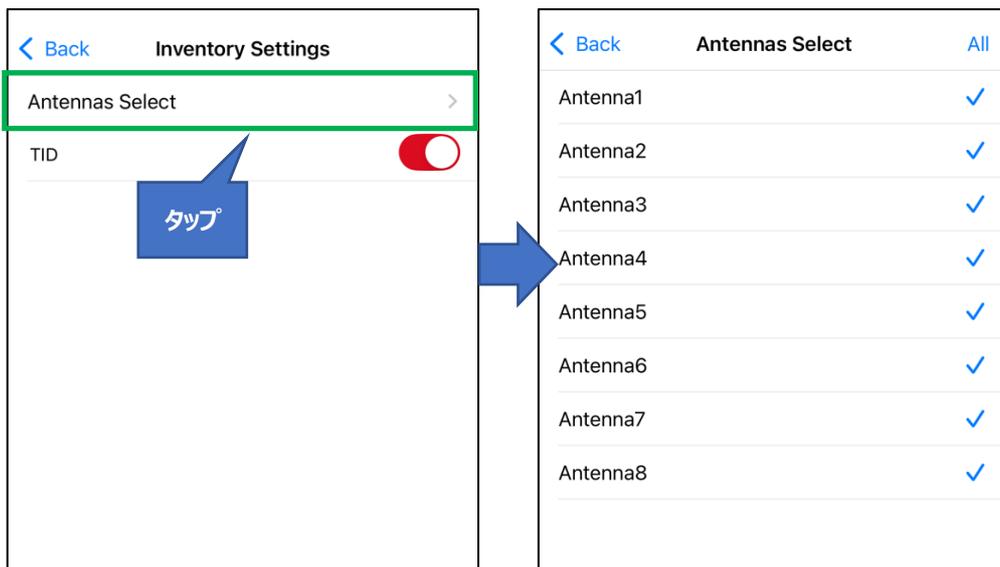
5.1. RFID settings

RFID 関連のパラメータを設定します。

| < More | RFID Settings |
|---------------------------|---------------|
| Inventory Settings | > |
| Antennas Power | > |
| Link Profile | > |
| Session Flag | > |
| Session | > |
| Idle Time | > |
| Q Value | > |
| LBT Channel | > |

5.1.1. Inventory Settings

- TID : インベントリした時に TID データを表示するかどうかを設定します。
TID Off : Top 画面でインベントリした際に PC・EPC のみ表示され、TID は表示されません。
TID On : Top 画面でインベントリした際に PC・EPC と TID が表示されます。
※この設定はアプリケーションに保存されます。
- Antennas Select : インベントリで使用するアンテナポートを設定します。複数選択可能です。
※この設定はアプリケーションに保存されます。
※ASR-P351N をご使用の際は、Antenna5, 6, 7, 8 を使用してください。



5.1.2. Antennas Power

各アンテナポートの電波出力を設定します。範囲：0dBm～23dBm。通常、設定した値が大きいほどインベントリ可能な距離が遠くなります。

※この設定は AsReader に保存されます。

| < Back | Antennas Power | Done |
|----------------|----------------|------|
| Antenna1 Power | 13 | |
| Antenna2 Power | 23 | |
| Antenna3 Power | 23 | |
| Antenna4 Power | 23 | |
| Antenna5 Power | 23 | |
| Antenna6 Power | 23 | |
| Antenna7 Power | 23 | |
| Antenna8 Power | 23 | |

5.1.3. Link Profile

※この設定は AsReader に保存されます。

各値の効果は以下を参照してください。

| | |
|---|--------------------------------|
| 0 | インベントリスピードは遅いが、感度が高い |
| 1 | 密集モード。読取距離が長く、広い範囲のインベントリに好適 |
| 2 | 1 に準ずる効果 |
| 3 | 高速モード。読取スピードが速く、狭い範囲のインベントリに好適 |
| 4 | 3 に準ずる効果 |

| < RFID Settings | Link Profile | Done |
|-----------------|--------------|------|
| 0 | | |
| 1 | | ✓ |
| 2 | | |
| 3 | | |
| 4 | | |

5.1.4. Session Flag

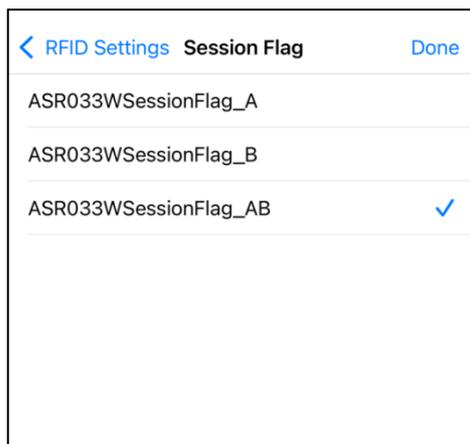
設定項目：

ASR033WSession Flag_A : Flag A のタグをインベントリ

ASR033WSession Flag_B : Flag B のタグをインベントリ

ASR033WSession Flag_AB : Flag A/B 両方のタグをインベントリ

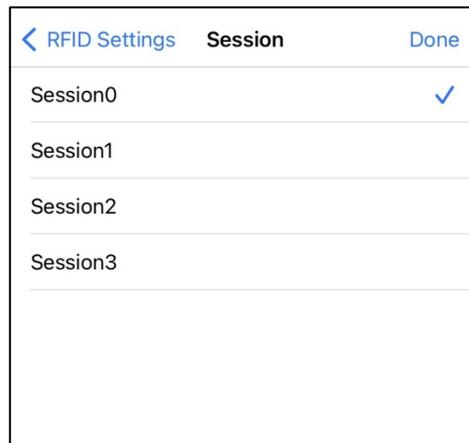
※この設定は AsReader に保存されます。



5.1.5. Session

設定項目 : Session0/Session1/Session2/Session3

※この設定は AsReader に保存されます。



「Session」と「Session flag」は組み合わせて設定する必要があります。タグの応答時間を調整できます（応答時間はタグの仕様によって異なります）。

環境に応じて下記を参考に設定してください。

Session0: Flag A のタグをインベントリすると、即座に Flag A に復帰します。

Session 1: Flag A のタグをインベントリすると、Flag B に切り替わった状態を 0.5～5 秒間程度保持した後、Flag A に復帰します。

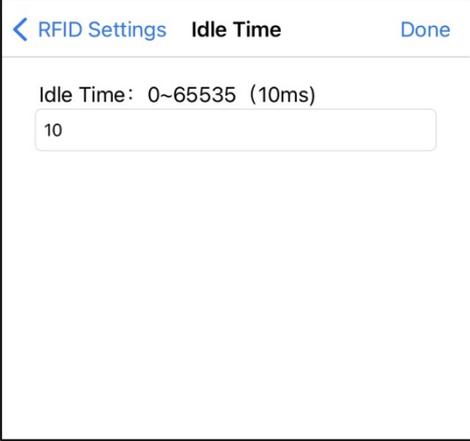
Session 2: Flag A のタグをインベントリすると、Flag B に切り替わった状態を 5～60 秒間程度保持した後、Flag A に復帰します。

5.1.6. Idle Time

インベントリ時の電波の送信休止時間を設定します。

※この設定は AsReader に保存されます。

※日本版の場合、5(50msec) 未満は設定できません。



RFID Settings Idle Time Done

Idle Time: 0~65535 (10ms)

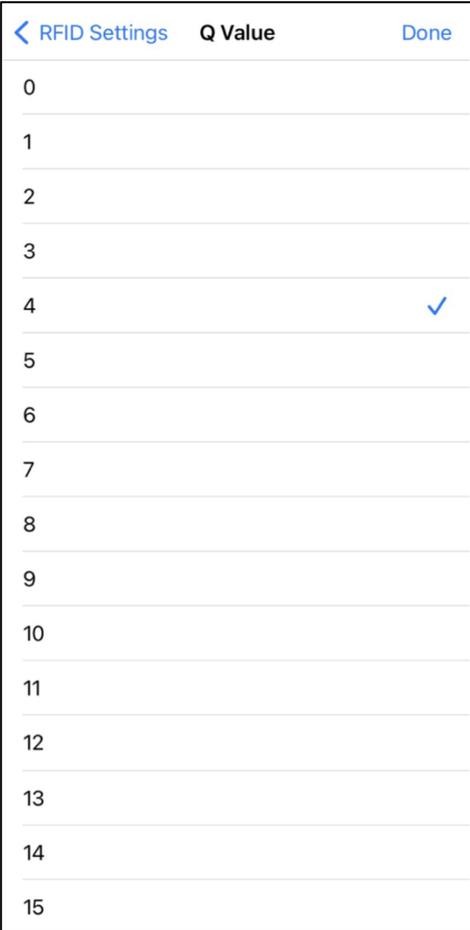
10

5.1.7. Q Value

Q 値を設定します。

設定範囲：0~15。

※この設定は AsReader に保存されます。



RFID Settings Q Value Done

0

1

2

3

4 ✓

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

5.1.8. LBT Channel

周波数を設定します。

※この設定は AsReader に保存されます。

| < RFID Settings LBT Channel | Done |
|-----------------------------|------|
| 916.8 | ✓ |
| 918.0 | ✓ |
| 919.2 | ✓ |
| 920.4 | ✓ |
| 920.6 | ✓ |
| 920.8 | ✓ |

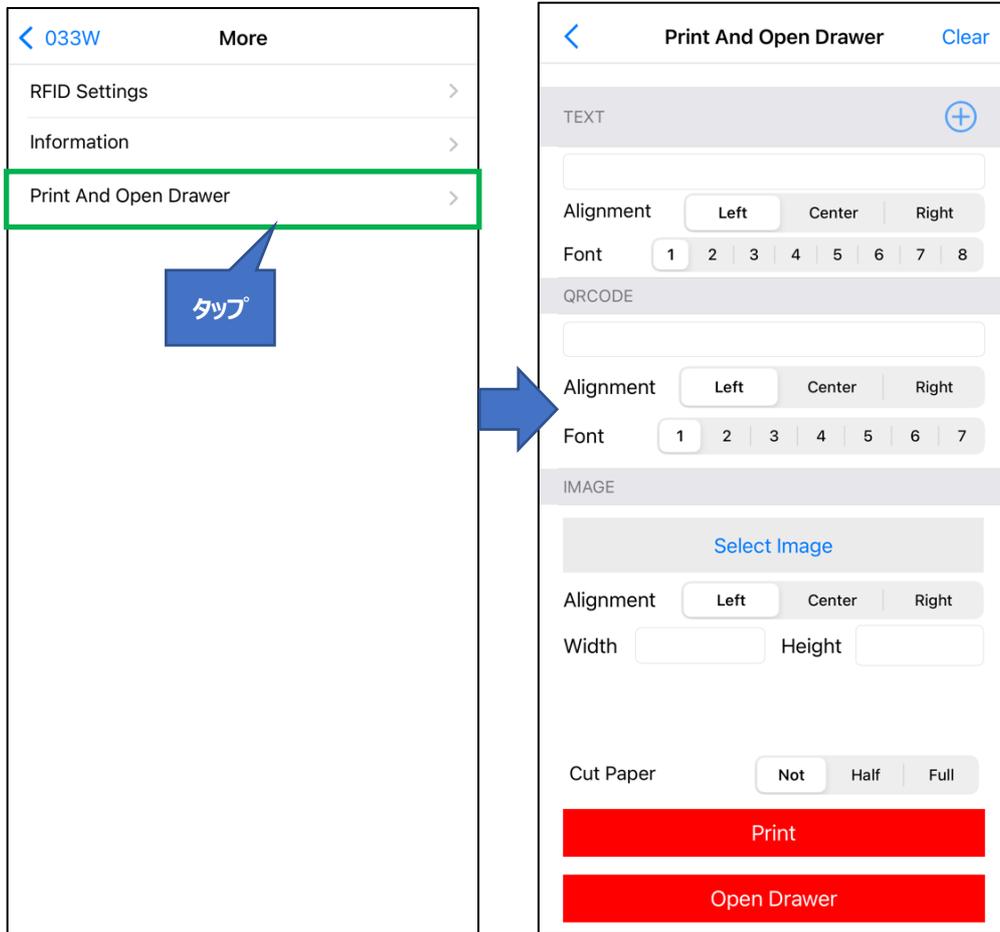
5.2. Information

AsReader およびアプリケーションに関する情報が表示されます。

| < More | Information |
|---------------------------------|------------------------|
| App version: | Version:1.0.0 Build:11 |
| SDK version: | 1.0.2 |
| Region/Country: | Japan(200mW) |
| RFID module manufacture number: | M6008000021200000410 |
| Hardware version: | 1.0.2 |
| RFID module version: | 01030000 |
| Firmware version: | 1.0.15 |
| MAC: | 00-CA-22-06-92-2F |

5.3. Print and Open Drawer

プリンターとキャッシュドロアに関する操作を行います。



5.3.1. プリンター設定

(1) TEXT

このエリアでは、印字するテキストの内容、揃え方、サイズを変更できます。

※右上の「+」ボタンをタップして、テキストの設定を追加できます。

(2) QR Code

このエリアでは、印字するQRコードの内容、揃え方、サイズを変更できます。

(3) IMAGE

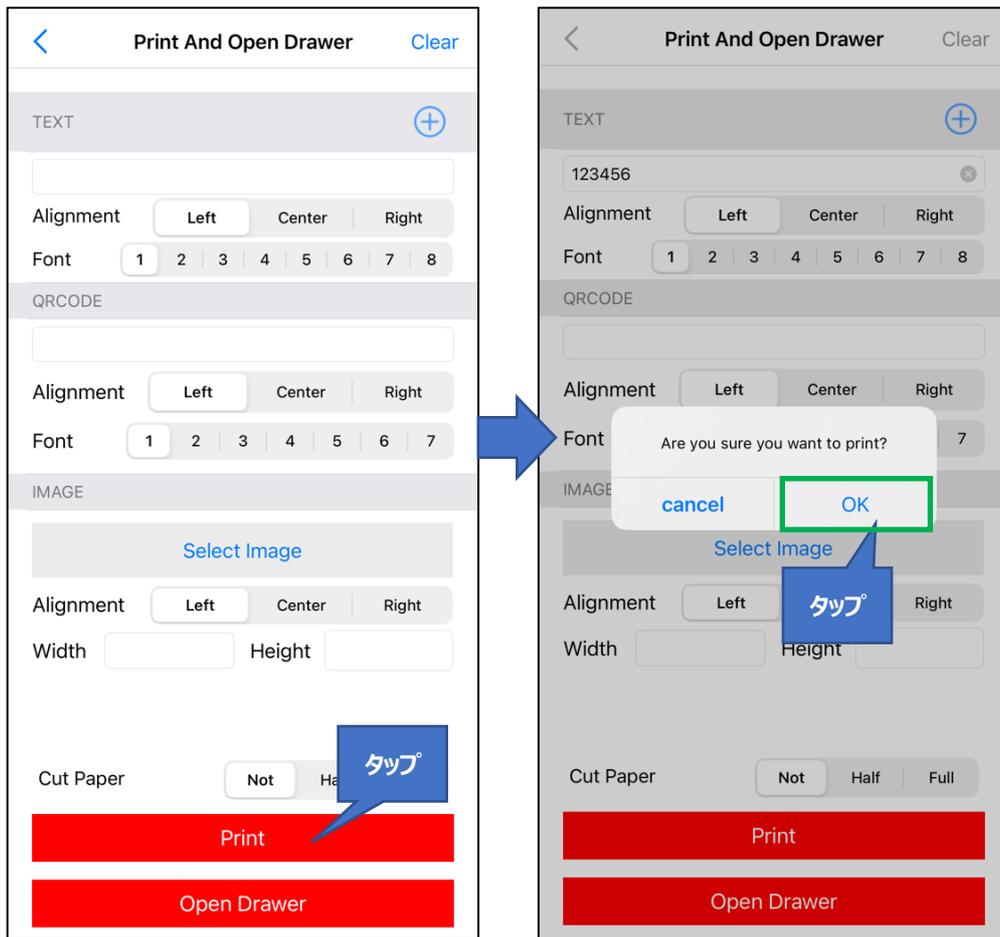
このエリアでは、他の画像を選択し、印字する画像の揃え方、幅、高さを変更できます。

(4) Cut Paper

レシート用紙のカット方法をカットなし、ーフカット、フルカットから選択できます。

5.3.2. レシート印刷

「Print」ボタンをタップして、表示されたポップアップにある「OK」ボタンをタップすると、レシートを印刷できます。



5.3.3. キャッシュドロアを開く

「Open Drawer」ボタンをタップすると、接続中のキャッシュドロアを開くことができます。

ASR-033W**デモアプリ操作説明書****株式会社アスタリスク****〒532-0013 大阪府大阪市淀川区木川西 2 丁目 2-1 AsTech Osaka Building**

- AsReader は、株式会社アスタリスクの登録商標です。
- App Store、iPad、iPadOS、iPhone、iPod touch、Mac、Macintosh、macOS は、Apple Inc.の商標です。
- iPhone の商標は日本国内においてアイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
- IOS は、米国およびその他の国における Cisco Systems, Inc. の商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されます。
- Google Play、Android は、Google LLC の商標です。
- Microsoft、Visual C#、Visual C++、Visual Studio、Windows は、米国 Microsoft Corporation の、米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。